

昨今の農業分野における農薬・化学肥料の多用は、生産者・消費者双方の健康を害し、生態系・自然環境の破壊を招いています。これは、

- ①戦後の食糧需要に応えるべく農薬使用・化学肥料大量投入型、効率追求型農法が広く推進された
- ②それ以外の農法による農産物は規格外すなわち商品価値が無いから生産しない

といった事情があったからです。しかしながら、近年になって

- ①大手流通業者、外食産業、会員制有機農産物流通組織等の市場外直接取引が活発化
- ②消費者の安全・安心を求めるニーズへの対応
- ③異業種による農業への新規参入

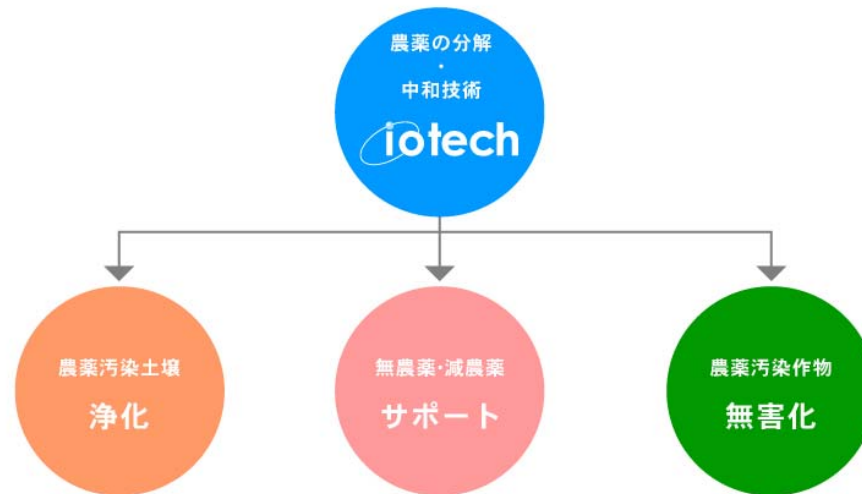
等の動きによってそれらの事情は大きく変化し始めています。

市場が求めている「食の安全・安心」の実現のためには

- ①安全な土壌の確保
- ②安全な生産手段の確保
- ③安全な流通手段の確保

において低コストで効率的で容易な技術の確立が必要です。

弊社の技術は農業における「安心・安全」をサポートする技術です。



事業フローチャート

